

学校の取組 (五霞町立五霞東小学校)

分類	④
見出し	教科担任制による学級担任の空き時間の確保
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校専科加配（家庭科）等を利用し、学級担任の空き時間を増やした。評価等も担当している。 3年 4時間（社会3〔特別支援学級担任〕，書写1〔教頭〕） 4年 4時間（体育3〔特別支援学級担任〕，書写1〔教頭〕） 5年 5時間（家庭2〔小学校専科加配〕，書写1〔教頭〕，外国語2〔教務主任・ALT〕） 6年 5時間（家庭2〔小学校専科加配〕，書写1〔教頭〕，外国語2〔教務主任・ALT〕）
導入の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生以上の学級担任の空き時間が、茨城県や県西地区の平均と比較して約2時間多く確保できた。
課題・対応	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も継続して実施できるか、教職員の構成により不確定である。
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・教頭や教務主任に過度の負担にならないように配慮する必要がある。

学校の取組 (五霞町立五霞西小学校)

分類	④
見出し	業務の効率化と人材の確保
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の人材を有効活用し業務の平準化を図る。 ・学級を複数の教職員で経営する。（副担任制）
導入の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・業務を分担することで、担任の負担の軽減となる。 ・学習指導、生徒指導においてきめ細やかな指導が可能となる。 ・担任以外の教職員の専門性を生かすことができる。
課題・対応	<ul style="list-style-type: none"> ・教師間の十分な連携 ・県費や町費負担の人材の確保と継続した勤務体制
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・学級編制や加配など、教職員の配置を長期的に考えて検討する。